

# 住民主体で地域を守る！

## 「農村型RMO」が活動を開始

### 伊根町

65歳以上の高齢者比率が府内最高（48%超）で、推進会議は、農業委員、会、生活支援部の3部会を設け、これから3年間は、「近所に店舗がない高齢者に給食や弁当を届ける仕組みづくり」を中心に活動を進める。伊根町農業活性化協議会、生活支援部の3部会を設け、これから3年間は、「近所に店舗がない高齢者に給食や弁当を届ける仕組みづくり」を中心に活動を進める。伊根町農業活性化協議会、生活支援部の3部会を設け、これから3年間は、「近所に店舗がない高齢者に給食や弁当を届ける仕組みづくり」を中心に活動を進める。



左から松山義典事務局長、小原澄晴会長、藤原正人副会長、大谷功農地保全部会長

### 農地の情報を一元管理 貸借や地域資源管理の総合窓口へ

耕作者の高齢化や減少による農地の遊休荒廃化を防ぐ活動にも力を入れる。この間、府の集落連携1000農場づくり事業も活用して、耕作者の現況地図作りに取り組み、地域計画の現況地図がほぼ完成した。「将来は農地に関する情報をGIS地図システムで一元管理し、農地の利用調整や排水路・畦畔・獣害防止柵の維持管理に活用していきたい」と松山さん。農地RMO

### 16市町農委会で 事務局長が交代

4月1日の人事異動で府内16市町農委委員会の事務局長が交代した。「新任の事務局長（敬称略）」

- ▲京都市▶辻高志▶大山崎町▶吉田賢史▶久御山町▶奥隆宏▶八幡市▶岩崎真哉▶井手町▶奥山英高▶木津川市▶若狭信樹▶笠置町▶植田将行▶精華町▶森田吉彦▶南丹市▶山下剛▶京丹波町▶山田和志▶綾部市▶大島憲一▶舞鶴市▶森下直哉▶福知山市▶大西巧▶宮
- ▲津市▶西原誠▶与謝野町▶池田浩樹▶京丹後市▶松下幸弘
- ▲5協議会も交代
- また、各ブロック農業委員会協議会の事務局長も5協議会で交代した（※事務局▶乙訓は大崎崎町、他は府振興局）。
- ▲新任の事務局長（敬称略）▶
- 乙訓▶吉田賢史▶山
- 城▶高橋美代▶南丹▶瓜
- 生康▶中丹▶生田淳一▶丹後▶塩見綱一

### 現場想い

◆「辞書によると、「福祉」とは幸福を意味する言葉である。「福」と「祉」とは、「いずれも幸福の意味する漢字だが、近年は「福祉」の概念が拡張され、障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉など、公的扶助やサービスによる生活の安定という意味で使われる場面が多くなっ

### 農業に福祉を！

た。◆福祉の目的は、住民が幸せになることにある。農業の将来が見通せず、先祖が苦労して開墾した農地を守り続けている農業者が幸せになるために何か必要だろうか。◆各地で「地域計画」策

### 女性委員が “つないで発信”

#### 日ヶ谷を残したい！



私が暮らす宮津市最北の部の日ヶ谷地区の人口は1333人で、高齢化率は65%。明治の旧村時代から人口は10分の1に減り、このままでは美しい風景が維持できなくなる。スロウ・ムーブメントに、和気あいあいとした雰囲気で活動を進めた結果、地域計画の「日ヶ谷15日会」

### 「野菜の魅力」を引き出し全国に発信!

久御山町で年間約50品目の野菜を生産する西村農園の西村九三男さん。生で食べるフルーツかぶなど、珍しい野菜を直売所での試食販売や、Instagramから見た飲食店からの注文もあり、全国各地に出荷している。



畑で笑顔の西村さん夫妻

形が悪い紫大根を原料にドレッシングを商品化した（写真左）、昨年は人気ラーメン店でのコラボ企画でスープに西村農園の野菜を使用したつげ麵が期間限定メニューで販売されて好評だった。

### 農deきらみら



西村さんは「これから楽しい企画をたくさん考えたい」と新たな挑戦にも意欲的だ。（久御山町農業委員会）

## 京都

### 京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660